レッスン：PYR43

テーマ：サイコノエティカル・バイブレーション

PYR43 KE06L6306

私の兄弟・姉妹達よ、

スピリット、光、火の子供達よ。私たちは常に主、絶対、主の聖性に抱かれています。

過去のレッスンで様々なサイコノエティカル界について話し、そこには7つの層があり、各層には7つの亜層があり、全部で49のサイコノエティカルな波動があると述べました。49のサイコノエティカル界、それは聖霊によって創造されています。しかしまた、全ての人間は自分自身のサイコノエティカル界を創造するとも言いました。

　人間が創造するそれらはどこにあるのでしょうか？それらは聖霊が築くサイコノエティカルな諸世界の中にあります。

　人間に創造されたサイコノエティカルな世界はどれぐらいあるのでしょうか？数え切れない程の無数のサイコノエティカルな世界があります。実際、創造界にいる人間の数ほどの無数の世界があります。それらは聖霊によって築かれたサイコノエティカル界あるいはそれらの亜層の中に、人間が築いた非常に大きな範囲にわたるサイコノエティカル界があります。どれぐらい？数え切れないほど無数にあります。

　　私たちは異なったサイクルに属するサイコノエティカル界を分けました、なぜなら人間は進化成長のプロセスにありますから、それぞれ特定の潜在的可能性のサイクルに属しています。しかし同時に、彼等は特定のサイコノエティカル界のなかで自らを表現しています。彼等のサイコノエティカル界は聖霊が築いたそれらのサイコノエティカル界のある層または亜層に属しています。

　ですから、ある特定の数のサイコノエティカル界、あるいは亜層を伴った層は特定のサイクルに一致する、と言うことができます。

　1番目のサイクルがあります；そこにはどれだけ多くの層と亜層があるでしょうか、つまりどれだけ多くのサイコノエティカル界、どれだけ多くのサイコノエティカルな波動がそこに属しているのでしょうか？7つの層があり、7つの亜層がありますが；1番目のサイクルにはどれだけの層があるでしょうか？1つの層があります、つまり聖霊によって築かれた7つのサイコノエティカルな波動があります。しかし、そこには7つのサイコノエティカルな波動しかなくても、意識の動きは非常に緩慢です。どれだけ多くの転生があるでしょうか？この1番目のサイクルを完了するためには多くの転生が必要です。

　1番目のサイクルにおいては、過去に話しましたが、パーソナリティーは自己を本能と共に現し、いわゆる本能的意識である意識です。

　2番目のサイクルは潜在意識的意識のセルフエピグノシスであり、そこには2つの層とそれぞれの亜層があります。パーソナリティーは全部で49あるサイコノエティカルの波動のなかで21のレベルに到達します。

最初の7つは1番目のサイクルに属し、2番目のサイクルではその上に14のレベルの波動があります。それゆえ全部で21のレベルとなります。

Page2

2番目のサイクルではどのくらいの転生があるでしょうか？転生のほとんどはこのサイクルで行われます。勿論、意識は1番目のサイクルよりは速く進みますが、しかしこのサイクルでは多くの努力が必要となります。この段階のステートまでは、人間は多くの苦しみ、痛みを経験します。ですから、大体において人間は21のサイコノエティカルな波動に到達するまでは、いわゆる「死んでいる」と見なされる経験をします。

　さて3番目のサイクルに入ると、人間は意識的に自己を表現し、意識的意識のセルフエピグノシスとなります。層はいくつあるでしょうか？このサイクルに属する層は3つあります。

　このサイクルでの最初の層、つまり21から28迄は（＊2番目のサイクルまでで21の亜層があるので、3番目のサイクルの最初の層は28までとなる）何が真の価値で何が真の価値でないかを認識する段階と見なされます。つまり、何が上で何が下かを認識します。人間はここでは5つの真の感覚をマスターする真剣なワークの準備をします；真のワークの地盤を準備します。そして勿論、真のワークは病院のようなものです、それは学校のように自分自身で学習します。学びは内側から来ますが、勿論彼等を助けることができる人々の助けと共に。

　そして3番目のサイクルの2番目から3番目の層では、何であれ三面ピラミッドが提供しているものを現すことに向けて真のワークを行います…それによって真の探求者が徐々に五面ピラミッドをマスターすることができるように。つまり、真の五感を使用すること、真の五感を意識的に使用するということです。意識的に、どう思いますか？

　3番目のサイクルをマスターすると、次は何でしょうか？レッスンで述べましたが、このサイクルをマスターした後は、助けとしての五面ピラミッドはもはや必要なくなると言いました。なぜなら、パーソナリティーは今や目覚めている時でも真の感覚を使用しているからです…思考または想像あるいは幻想、そして寝ている時だけでなく。

　ですから、実際その時から、そのパーソナリティーは真の感覚を超意識的に使い、イエスキリストロゴスが彼等に与える最も大きく、重要なミステリーを経験する準備ができます。それは火の洗礼であり、4番目のサイクルに入るパーソナリティー、人間はいわゆる超意識的意識のセルフエピグノシスを現します。彼等は超意識的に真の五感を使い、ただ一つの助けだけが必要となり、それは三面ピラミッドと四面ピラミッドです。

　勿論、この段階ではそのパーソナリティーは多くのパワーと能力と共に自己を現し、ヘラクレスとしてのセルフ、自己を表現します。そして今や、徐々にゆっくりとエゴティズムの様々な側面を除去する用意ができています。これが4番目のサイクルにいる間の努力です。そして勿論、4番目のサイクルには潜在的可能性の1つの層だけがあり、ここでの動きはとても速くなります。

（＊1番目は１つ、2番目のサイクルは２つ、3番目のサイクルは３つ、そして4番目は1つで、全部で7つの層となります）

　ここでの動き、スピードはどれくらいでしょうか？4番目のサイクルにおける動きの速度は思考の速度です。なぜなら4番目のサイクルにいる間もパーソナリティーはまだ二元性、感覚、および思考を使っているからです。そして勿論、パーソナリティーが4番目のサイクルをマスターした時には、もはや思考は必要でなくなり、二元性も必要でなくなり、そのパーソナリティーはいわゆる自己実現に到達し、四面ピラミッドをマスターしたパーソナリティーは自動的にLifeから5番目のサイクルを与えられ、そこではコミュニケーションのために同調という能力があります。ですから、今やコミュニケーションには同調を使います。

　同調は同化ではありません。そうです、あなたは誰かと、あるいは何かと同調するかもしれません、しかしあなたはその何か、誰かにはなりません。あなたはその誰かを観察し、分析しますが、しかしその何か、誰かにはなりません。あなたはその何か、あるいは誰かの中に入りますが、しかしそれにはなりません、あなたは細かい部分まで観察します。これが同調と同化の違いです。同化の場合、あなたはその何か、または誰かになり、あるいはあなたは創造界それ自体になります。同調の場合、あなたは創造界に同調しますが、創造界それ自体にはなりません。あなたはいろいろな物に同調することができ、あなたが同調した石、あるいは場所の全ての歴史を見ることができ、誰かに同調することができ、その誰かの全ての活動、動きを見ることができますが、しかしその誰かにはなりません。

Page3

私たちが説明したように、Lifeはただ*存在します*。一つの石のなかに活動があり；全てのなかに活動があります。これはサイコメトリーと呼ばれています。あなたが何かに同調すると、例えば石を取るとその石がどのようにして今の状態になったのかがわかります。大きな岩、または山だったかもしれません。そして徐々にそれは小さな石になったのです。そして何であれその石の周囲で起きたこと、争いその他、何であれ起きたことがその石に記録されているのです。

Q：他の人間に関して私が制限を感じるのは、相手とどれだけ親しくても、相手の目を通して世界を見ることができないからです。相手が物事をどのように見ているかを知ることができません。なぜなら、彼等はそこにいて、私はここにいるからです。ですから同調では、あなたは実際に世界を見ることができ、相手、誰かが世界をどのように見ているかを、相手の体験、歴史、どのようにしてそのような人になったのかを見ることができるのですね；そのようなことを突き止めることができるのですか？

K：あなたはその人にはなりません。

Q：いいえ、相手の人になるのではなく、相手が見ているように物事を見ることができるのですね。なぜなら、相手がどのような経験、体験をしてきたかがわかるわけですから。

K：そうです、詳細に相手の体験を見ることができます。しかし、いいですか、それを行うためには、そうすることを依頼され、許可を得る必要があります…その結果、ヒーリングの能力のあるパーソナリティーがその人を助けることができるように。

　それは相手から頼まれなければ、相手の潜在意識の中に入らない、と言うのを同じです。依頼されなければ相手の家に入ることはしません。滞在するように頼まれた家には滞在します；私たちは許可なしに好奇心から家の中に入り込んであちこち見て回ることはしません。例えば、勝手に食器棚を開けて中を覗くことはしません。相手のプライバシーを尊重すべきです。しかし、助けを求められれば、助けます。これが同調が相手に提供することです。このようなことができなければ、いかにして不可視のヘルパーや霊的ヒーラーは人々を助けることができるでしょうか？もし感覚を使うなら、同調することができなければどのようにして相手を助けることができるでしょうか？何が問題なのか、助けようとする相手の問題を知ることができません。

　同化は勿論、実存の諸世界のためのものではありません；同化はLifeの諸世界、魂のセルフエピグノシスの世界におけるLifeそれ自体のためのものです。転生のサイクルにいる間は、誰も個人的に同化を体験したとは言うことができません。何であれ、それら同化の諸世界について、あるいは絶対存在のステートについて言う人がいるなら、それは同調を通じて言っているのです。その人は観察して言っているのであり、その人自身で体験しているのではありません。それはその世界における実体験によるものではありません。その実体験は実存の諸世界にいる間だけのものであり、実存の諸世界における同調を通じたものです。

　勿論、実体験はこれらの諸世界における同調を通じてだけでなく、感覚の使用を通じてのものもあります。その体験がどれだけパーソナリティーの助けになるかはそのパーソナリティー自身によります。

Q：同調は5つの超感覚を越えたものですか？

K：同調はそれを越えた先にあるものであり、パーソナリティーが自己実現に到達した後のことです。なぜなら、このステートでは二元性も五つの感覚も必要としないからです。

Q：それでは5つの超感覚を使っている人の体験とはどのようなものですか？

K：超感覚？遠隔透視ができ、遠隔聴力があります。時間・空間という意味はもはや障壁にはなりません。遠くから見ることができ、助けるために超意識的に手を差し伸べることができます。勿論、まだエクソマトシス（＊意識的幽体離脱）をすることはできません。なぜなら、サイコノエティカル体はまだ完全には再形成されていないからです。

　しかし、真のワークは3番目のサイクルでスタートします。3番目のサイクルは現在のパーソナリティーに多くのパワーと能力を提供します。たとえ2番目のサイクルを完了したと言う時でさえ、それは完了することによって与えられると言っても、それを完了するまではパーソナリティーはいわゆる意識的意識のセルフエピグノシスをスタートしない、ということを意味しません。

Page4　ですから、次のサイクルで何がスタートするにしても、それはその前のサイクルが完了する少し前に始まります…そのパーソナリティーが次のサイクルに入るのを可能にするために。

Q：痛みのようなものもありますか？

K：痛み？勿論。しかし、そのパーソナリティーは痛みを作り出すものを多く避けることができます。なぜなら、そのパーソナリティーは意識的に生きることをスタートするので、何に真の価値があり、何には真の価値がないかを認識することができるからです。

Q：5番目に入る少し前に同調をいくらか体験することはできますか？

K：できません。これは少し前にそれを体験できない唯一のケースです。なぜなら、同調は高次ノエティカル体から与えられるものだからです。その高次ノエティカル体はLifeそれ自体の体と同一です。

　エクササイズのなかで覚えているかもしれませんが、4面ピラミッドの中で正面の純白のサイドを見ている時、2つの同一の体を見ました。一つは私たちの内側にあるLifeのスパークの体で、もう一つは私たちがそれを現すことを求めている高次ノエティカル体です。私たちはそれを使うことを求めています…つまり自己実現に到達することを。そして、勿論それが起きた時には、サイコノエティカル体は完全に再形成されます。しかし、サイコノエティカル体は高次ノエティカル体ではありません。それを明確にしておいてください。高次ノエティカル体は何かそれとは別のもの、異なったものです。そして私たちはそれら両方の体を同時に持つことができます。

Q：各サイクルにおいては、私たちが経る必要がある転生の数は決まっているのですか？

K：数はありません、そして私はそのような数を言ったことはありません。人によっては数千回という人もいます。転生の数を話すのは重要ではありませんが、多くの転生があります。どれぐらいでしょうか？それは人によります。この地球上における全ての人間が同じ回数だけ転生するわけではありません。まだ2回しか地球に転生していない人も今、生きています。また大昔からこの地球で転生を重ねている人もいて、彼等は多くの回数を転生しています。（回数を言いたくはありませんが）おそらく何千回、何万回かもしれません。しかし、後に続く人達は成長の速度が加速されていきます。ある人がある回数の転生によってある気づきのレベルに到達したので、後に続く人々も同じ回数を転生しなければ同じレベルに到達しない、ということはありません。おそらく後に続く人はそれより少ない回数で同じレベルに達するでしょう、なぜなら既に道が開かれており、開通されているからです。

Q：法則に関する感覚は気づきの上昇と共に来ます。それは同義語となります。なぜなら、私たちはパワーと能力について話していますが、同時にエレブナではそれらパワーと能力は特定の目的のために現されると話しています。

Ｋ：パワーと能力はLifeの本質から来ます。パワーと能力、それはそのパーソナリティーが三面ピラミッドをマスターしたことを意味します。何であれLifeの本質から来るものを与えるのは3面ピラミッドです。そしてそれが起きると、それらのパワーと能力が何であれ、それらは人類への恩恵のために与えられます。勿論人間はエレメンタルを通じて現象を行うことができますが、しかしそれはLifeの本質とはまったく関係なく、3面ピラミッドとは何の関係もありません。それはエレメンタルを使用した結果であり、それは人間の無知による創造物です。

EREVNA PYR 43/KE06L6306